

## 11月5日（土） 時間割

9:30 ~ スライドによる 山階鳥類研究所紹介	鶴見みや古 自然誌研究室長
10:00 ~ 卵の殻の小さな穴, その大きな役割	富田直樹 保全研究室
10:30 ~ 日本産シロチドリの分類と移動	茂田良光 保全研究室
11:00 ~ 鳥にまつわる法律のハナシ	千田万里子 保全研究室
11:30 ~ 鳥の体のなかを見るーCT スキャンで体を調べるー	岩見恭子 自然誌研究室
12:00 ~ マダガスカル <small>の鳥</small>	浅井芝樹 自然誌研究室
12:30 ~ (昼休み)	
13:00 ~ スライドによる 山階鳥類研究所紹介	鶴見みや古 自然誌研究室長
13:30 ~ 卵の殻の小さな穴, その大きな役割	富田直樹 保全研究室
14:00 ~ 日本産シロチドリの分類と移動	茂田良光 保全研究室
14:30 ~ 鳥にまつわる法律のハナシ	千田万里子 保全研究室
15:00 ~ 鳥の体のなかを見るーCT スキャンで体を調べるー	岩見恭子 自然誌研究室
15:30 ~ マダガスカル <small>の鳥</small>	浅井芝樹 自然誌研究室

## 講演内容

スライドによる 山階鳥類研究所紹介	山階鳥類研究所はどんなところか、沿革と現在の活動についてスライドを使ってお話します。	一般向け
卵の殻の小さな穴, その大きな役割	皆さんは、鳥の卵の表面に目には見えない非常に小さな穴が無数にあることをご存知でしょうか？卵の中でヒナが成長し、かえるまでにこの穴がどのような役割を果たすのか、そして、孵化（ふか）した後に巣内でおこる兄弟間の餌をめぐる競争にどのような影響を与えるのかについてお話します。	一般向け
日本産シロチドリの 分類と移動	生物の分類では同じ種が地理的に少しずつ違うときに種の下に亜種というカテゴリを設けて区別します。海岸の干潟や河口に生息するシロチドリについて、色足環などによる調査での移動状況も踏まえながら、日本と周辺地域の個体群について形態による亜種分類について検討します。	専門的
鳥にまつわる法律のハナシ	日本の野鳥は法律で守られていて、勝手に捕まえたり飼ったりできません。では、調査のために鳥を捕まえる場合は？弱った鳥を保護する時は？巣の中の卵やヒナは触ってもいいの？鳥に関わる人に知っておいて欲しい法律について解説します。	一般向け
鳥の体のなかを見る ーCT スキャンで体を調べるー	鳥は陸、空、水中といったさまざまな環境を利用することができます。体の中にはそれぞれの環境に適応するためのおもしろい仕組みがあります。解剖しなくてもみられる体の中をご紹介します。	一般向け
マダガスカル <small>の鳥</small>	マダガスカルはアフリカ大陸の東にある島国で、生息する鳥の半分ほどが固有種です。以前、野外調査でマダガスカルを訪れた際に出会った鳥を写真で紹介します。	一般向け